

# <英文法超基礎⑥⑧> Lv.★★★★☆☆ 対象: 中2・中3~

## ① 副詞節を作る that

接続詞 that は名詞節の働き(「~ということ」)と副詞節の働きがある!

① (1. )を表す形容詞+ that S'V~: 「2. 」など

I'm glad (that) he passed the exam. 「私は彼が試験に合格してうれしい」

I'm sure (that) he will win. 「彼はきっと勝つと思う」

### <感情・心理+ that S'V~ タイプ>

- |        |          |   |
|--------|----------|---|
| • (3.  | ) : 「4.  | 」 |
| • (5.  | ) : 「6.  | 」 |
| • (7.  | ) : 「8.  | 」 |
| • (9.  | ) : 「10. | 」 |
| • (11. | ) : 「12. | 」 |

※ このタイプの that は省略 (13. )!

② (14. )  
「15. 」 「16. 」

• He was so tired that he couldn't walk.

「彼はとても疲れていたのに歩けなかった」

「彼が歩けないほど疲れていた」

• He was not so tired that he couldn't walk.

× 「彼はとても疲れてなかったのに歩けなかった」

○ 「彼は歩けないほど疲れてはなかった」

→ 主節文が (17. ) のとき 16 の 「18. 」の意味となる。

☆ (19. ) : 「20. 」 (L53)

を使って、「so A that S'V~」の文を書き換えることができる!

He was so tired that he couldn't walk.

= He was too tired to walk.

## ② もう1つの so that 構文 と such that 構文

副詞節を作る that は ① でやったモノ以外にまだもう少しだけあります!  
(高校の範囲なので、必要のない人は一旦スルーしてもかまいません)

② (21. ) ← 語順に注意!  
「22. 」

It was such a hard test that I couldn't solve it.

「それはとても難しいテストだったので、私は解けなかった」

③ (23. ): 「24. 」

I studied very hard so that I could pass the exam.

「私は試験に合格できるように一生懸命勉強した」

④ (25. ): 「26. 」

He ran fast, so that he caught the train.

「彼は速く走った、その結果その電車に間に合った」

※ so that の that は (27. ) されることがある。

## ③ その他の副詞節を導く接続詞

• (28. ): 「29. 」

(As soon as he saw me) he ran away.

「彼は私を見るとすぐに逃げた」

• (30. ): 「31. 」

→ because ほど強い意味合いはない。聞き手もわかっているような理由を補足的に述べるときに使われ、文頭に置かれることが多い!

(Since you have a fever), you shouldn't go out.

「熱があるので、あなたは出かけるべきではない」